愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	深谷 和広	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

総合演習Ⅰでは、幅広い知識の習得から専門知識を育み、自己を理解し、主体的に他者と協働して問題課題をする能力を獲得することを目標とする。そのため社会問題の基礎知識から学びはじめたいと思います。社会問題の実態と社会問題の本質の理解を通じて社会問題の解決方法を探求します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習方式で授業を行う。各授業では、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、主体的な学びのスタイルを身に着ける。学生同士のコミュニケーションを通じて学習効果を高める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション（ゼミ活動の概要説明）	ゼミ活動の説明と自己紹介	□
第2回	ゼミ活動の準備	ゼミ運営の方法と役割分担を確認する	□
第3回	社会問題の基礎知識（１）	社会問題の基礎知識を確認する（１）	□
第4回	社会問題の基礎知識（２）	社会問題の基礎知識を確認する（２）	□
第5回	社会問題の基礎知識（３）	社会問題の基礎知識を確認する（３）	□
第6回	社会問題の種類と内容（１）	社会問題の種類と内容を理解する（１）	□
第7回	社会問題の種類と内容（２）	社会問題の種類と内容を理解する（２）	□
第8回	社会問題の種類と内容（３）	社会問題の種類と内容を理解する（３）	□
第9回	情報の収集（１）	情報を収集し、レポートをまとめる（１）	□
第10回	情報の収集（２）	情報を収集し、レポートをまとめる（２）	□
第11回	情報の収集（３）	情報を収集し、レポートをまとめる（３）	□
第12回	プレゼンテーション（１）	レポートを報告し、内容を点検する（１）	□
第13回	プレゼンテーション（２）	レポートを報告し、内容を点検する（２）	□
第14回	社会問題の本質を考える（１）	社会問題の本質は何か？をゼミ生同士で考える（１）	□
第15回	社会問題の本質を考える（２）	社会問題の本質は何か？をゼミ生同士で考える（２）	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業の前には課題図書やゼミ活動で必要となる新聞、雑誌、テレビ、ネットなど情報を事前に読むこと（2時間程度）また授業の後に授業内容をまとめた、ゼミ課題に積極的に取り組むこと（2時間程度）。日ごろからビジネス関連情報を収集するように心がけること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

次回の授業で取り組んだ内容また課題について、次回の授業内でプレゼンテーションすること、またディスカッションすることを通じて相互にフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	社会に関する幅広い知識を習得しながら専門知識を学び、活用することができる

思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	自らの経験を基に、創造的に考え、課題について的確に判断し、表現、発信できる
主体性	◆ 2019全学共通DP3	自己を理解し、主体的に他者と協働して問題解決することができる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	0%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	＜なし＞	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	＜なし＞必要な参考図書・文献資料は演習時に指示します。	
2		
3		
4		
5		